

会派代表質問

公明党

上代 和利 議員



市民の皆様への安全・安心を守り  
住続けたいまちづくりをめざして

問 九都府市合同防災訓練を終えて  
今後の災害訓練について

答 市では各地域により想定される  
災害も異なり、地域の特性に応じ土  
砂災害、津波避難、地震災害など、  
災害種別ごとの訓練をこれまで計  
画し、実施してきました。今後の防  
災訓練も災害種別ごとに住民参加型  
の実践的訓練内容を継続してい  
ます。九都府市合同防災訓練を受け、  
各防災関係機関との連携を内容とす  
る訓練等を検討していきます。

問 個別避難計画作成と進捗状況は。

答 福祉関係各課と連携して、洪水  
津波、土砂災害など、地域における  
危険度の状況や要支援者本人の状況  
などを踏まえた計画作成の優先順位  
などを盛り込んだ計画作成マニユア  
ルの策定に努めています。今後、作  
成マニユアルをもとに、自主防災組  
織や民生委員など関係団体等の協力  
をいただき、個別避難計画を作成し  
ていきます。九都府市合同防災訓練  
の津波避難訓練に参加協力いただ  
いた自主防災組織へは、先行して個別  
避難計画作成の説明を実施し、す  
でに作成に取り組んで頂いています。

問 河川の水位計の活用について

答 千葉県により南白亀川の下ヶ傍  
示橋、柳橋、小中川の駒込地先の3  
箇所に河川水位計が設置されており、  
水位状況は、千葉県防災ポータルサ  
イトで市民の方でも確認することが  
できます。下ヶ傍示橋にはカメラも  
設置されており、映像も確認できま  
す。市は、台風や大雨など水害が予  
想される時など、水位計の情報など  
をもとに河川周辺の住民に対する避  
難情報の発令判断の一つとして活用  
してまいります。

問 線状降水帯の予報を活用した早

期避難について

答 気象庁では、本年六月一日から  
線状降水帯の予報情報の発表をはじ  
め、現段階では予測精度は十分では  
ないものの、住民の早めの避難判断  
行動につながるよう開始されました。  
市は、線状降水帯の予報情報が発表  
されれば、広く市民へ情報を発信し、  
早めに避難準備をせよととも  
に、避難所開設が早めに行えるよう、  
線状降水帯予報情報を活用してい  
たいと思います。

問 白里地域の排水流域と方向は。

答 2級河川の堀川と真亀川の流域  
と流下方向を答弁します。堀川の流  
域は、細草及び北今泉、南今泉、四  
天木の各一部、主に、準島の西側と  
主要地方道山田台大網白里線(県道)  
の南側の南今泉、四天木の各一部が  
流域で、東金市境から浄化センター  
付近で東に折れ、太平洋に流下しま  
す。真亀川の流域は、主に、県道よ  
り北側の南今泉、北今泉の各一部が  
流域で、蛭川を経由して、真亀川か  
ら太平洋に流下します。いずれの流  
域も南北に流下する幹線排水路を  
経由して、それぞれ堀川、蛭川及び真  
亀川に流入しています。

問 人・農地プランの内容と進捗状  
況について

答 人・農地プランは、農業関係者  
の話し合いに基づき、将来の農業の  
あり方などを明確化させる取り組み  
であり、現在5地区において農地利  
用に関するアンケートを実施中です。  
今後は、調査地区を順次広げると  
ともに、現在の農地利用状況を明確化  
した後、農業関係者による話し合い  
を重ね、地域の中心となる経営体へ  
の農地の集約化に関する将来方針の  
策定を進めてまいります。

関連質問

引問真理子議員



問 制服の選択制について、トラン

スジェンダー、心と体の性が一致し  
ない人の児童・生徒を考慮し、学校  
制服のジェンダーレス化が徐々に進  
められてきました。市内中学校の制  
服を取り入れる理由、メリットにつ  
いて伺いたいと思います。

答 落ち着いた統一感のある学校の  
雰囲気をつくり出すとともに着るも  
のによる生徒同士の経済的な格差が  
生じないこと、儀式的行事等を含め  
何を着るか、着させるかを悩むこと  
のないことなどのメリットがあると  
認識しております。

問 性別によらない選択肢について

答 LGBTQなどの多様性の配慮か  
ら女子生徒に対してスカート、ス  
ラックスの選択を許可し、スラック  
ス採用が進んでおります。本市の制  
服について現状をお伺いいたします。  
答 増穂中学校ではクールビズを  
図るためのポロシャツの採用に加  
え、女子の制服はスカートまたはス  
ラックスを選択できるようにしまし  
た。大網中学校においても上着と同  
色のスラックス着用を選択できるよ  
うになっており、生活の決まりの中  
にも明記、白里中学校については女  
子の制服がセーラー服であることか  
ら、スラックスの着用はない状況で  
すがクールビズを図るため、夏服は  
ポロシャツを採用している状況です。

その他、マイナンバーカードの普  
及促進について、休日窓口を月2回

ペースで開設、カード交付窓口も増  
やし対応、タブレット端末を用いた  
一連の手続きをサポートしており11月  
からは市内の企業や団体、事業所や  
地域の集いの場で10名程度の申請希  
望者を募って予約をすれば指定の場  
所に職員が出向く出張申請サポー  
トの取組を行っております。

関連質問

秋葉好美議員



問 5番目のコロナ対策について伺

います。今冬第8波に備えてのコー  
ナ対策について質問致します。オミ  
クロン株対応のワクチン接種につ  
いて、新型コロナウイルスの従来型と  
オミクロン株BA.1、BA.4  
5、に対しての2価ワクチンのこと  
かと思えます。そこで、市民の皆  
様に安全性、有効性などの情報提供が  
大切になってくるかと思えます。現  
在にはもう既に接種が開始されて  
いるかと思えます。さらに、この冬  
はインフルエンザとコロナの同時流  
行が懸念されています。インフルエ  
ンザとコロナの同時接種等について  
以下の4点をお聞かせ下さい。

- 1. オミクロン株対応の接種につ  
いて、2. 市民への情報提供につ  
いて、3. 接種の開始時期につ  
いて、4. インフルエンザとコロナの同時  
流行し、同時接種できるのかお聞か  
せ下さい。

答 1. オミクロン株対応のワクチ  
ンは、従来型の成分に加えオミクロ  
ン株成分が含まれております。オミ  
クロン株の成分には、BA.1とBA.  
4-5といわれる2つの種類があり  
それぞれ従来型ワクチンを上回る効  
果が期待できるといわれています。  
2. 市民への情報提供については、市  
ホームページや広報紙及びヤフー防  
災メールなどを通じて周知しています。  
3. 接種の開始時期について個別接  
種は、10月から大網病院、と市内の  
医療機関でも実施されています。集  
団接種は11月から大網病院保健文化  
センター、農村環境改善センターで  
実施されています。

4. インフルエンザとコロナの同時  
接種については、国の審議会にお  
いて議論された結果、同時接種が可  
能であることを確認しております。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる  
豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 20数年前には、公共下水道を利

用せず、農業集落排水施設やミニ  
タイププラント施設を建設することを  
選択したにも関わらず、現在は統合  
が適切である可能性があるのは何故  
でしょうか。

答 スケールメリットにより今後の  
維持管理費が抑制され、農業集落排  
水及びミニタイププラントに係る改  
築更新費用が大幅に削減されるなど、  
経済的に有利と判断されたことから  
汚水処理施設の統廃合を進めること  
としたものです。

問 農業用集落排水及びミニタイプ

プラントを廃止し、公共下水道へ統  
合した方が経済的ということですね。  
問 先の大雨・台風被害より、本市  
でも住宅地に雨水が深く溜まり、日  
常生活に影響が生まれました。本市  
の雨水対策の現状と進捗があればお  
聞かせください。

答 市で実施しております雨水対策  
は、市道の道路側溝の整備と幹線排  
水路の整備を実施し、排水不良箇所  
の改善に取り組んでいます。現在の  
整備箇所ですが、道路側溝について  
は、上谷新田及び南横川2地区で実  
施しており、幹線排水路は、北今泉  
下ヶ傍示、柳橋、清名幸谷、駒込の  
5地区で整備を進めています。今後  
の予定としては、現在実施  
している道路側溝及び幹線排水路の  
整備を継続的に進めることで、浸水  
被害の軽減や生活環境の向上に努め  
てまいります。

問 空き家対策総合支援事業を、本

市ではどの様に活用しますか。  
答 現在進めております空き家の実  
態調査完了後に、空き家等対策協議  
会を設置し、空き家等対策計画の策  
定したうえで、各支援策に取り組ん  
でまいります。

この事業を活用すると、国からの

補助金と同程度、又はそれ以上の負  
担が市に発生することになります。市  
長、その覚悟で進めていただける  
のです。市長にうなずいて頂きま  
した。

問 移住に関する助成金の創設につ  
いて、6月の市長の答弁ではPRが  
主な政策ということでした。桐生市  
での助成金以外の施策は本市と何ら  
変わりありません。桐生市の成功例  
を見ると「助成金」が移住者への最  
大のPRであり、移住希望者の関心  
であると確信しました。人口減少を  
歯止めする為の移住政策への投資に  
ついて伺います。

答 現在、本市では、待機児童の解  
消に向けた取り組みや、学童保育や  
放課後子ども教室を市内すべての学  
校で実施しているほか、「子育て支  
援館」や、「子育て交流センター」  
の整備など、子育て環境の一層の充  
実を図っています。また、本年度か  
らは、新たに「結婚新生活支援事業」  
を実施しております。移住に関する  
助成金の創設につきましては、移住・  
定住に向けた各種の施策を推進する  
先進自治体の取り組みを研究いたし  
まして、本市の実情に応じた施策の  
検討をしてまいります。

結婚新生活支援事業は、大変良い  
事業ですが、大網白里市の市民に向  
けた助成金といった傾向が強いので  
はないでしょうか。一般の移住検討  
者に対して、インパクトのある助成  
金でPRが必要だと思えます。

※ 他に、最終汚水処理人口目標、  
空き家バンクの利用登録者数、市内  
の空き家数などについて質問しま  
した。